

授業科目 内科学 II

【担当教員名】 佐藤 弘		対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語	
		開講時期	後期	必修選択	必修	
		単位数	2	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
◎	○	◎	○			
【概要・一般目標：G10】 内科 I で学習したことを踏まえ、各臓器・器官系の主な病気について、診断および治療の概要を修得する。高齢者にみられる病気とその対策、東洋医学の現状と現代医療にたいする役割について概要を理解する。						
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 各臓器・器官の主な病気について、特徴的症候および治療を記述する。 2. 中毒性疾患では、依存症・環境汚染とを関連づける。 3. 高齢者においてよくみられる病気の特徴とその対策を記述する。 4. 東洋医学の現状とこれからの医療に対する役割を記述する。						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	内科各論 1 循環器疾患 1 不整脈, 先天性疾患・後天性心疾患, 内科各論 2 循環器疾患 2 血圧異常, 心筋疾患, 心膜疾患, 大動脈疾患, 静脈疾患 内科各論 3 腎泌尿器疾患 腎不全, 糸球体疾患, 全身疾患による腎障害, 尿路感染症, 尿路結石症, 内科各論 4 消化器疾患 1 消化管疾患 (食道・胃十二指腸・小腸・大腸), 機能性消化管障害 内科各論 5 消化器疾患 2 肝疾患 (急性肝炎・慢性肝炎・肝硬変・肝臓癌・自己免疫性肝障害), 胆道疾患 (胆石症・胆道炎・胆道癌) 膵疾患 (急性膵炎・慢性膵炎・自己免疫性膵炎・膵臓癌), 内科各論 6 呼吸器疾患 咳ぜ・肺炎, 閉塞性肺疾患, 血管性病変, 肺腫瘍 内科各論 7 内分泌・代謝性疾患 視床下部下垂体病変, 甲状腺疾患, 副甲状腺疾患, 副腎疾患, 性腺疾患 内科各論 8 血液・造血器疾患 貧血, 白血病, リンパ網内系疾患, 異常蛋白症, 出血凝固系異常 内科各論 9 神経疾患 感染症 (脳炎・髄膜炎), 神経変性疾患 (認知症・パーキンソン病), 脳腫瘍, 筋疾患 (筋ジストロフィー症) 内科各論 10 感染症 (ウイルス感染症・細菌感染症・原虫症・寄生虫疾患) 内科各論 11 中毒性疾患 (薬物・嗜好品・重金属・工業製品など) と依存症・環境汚染 内科各論 12. 膠原病・自己免疫疾患 (古典的膠原病・膠原病類縁疾患) 内科各論 13. 高齢者にみられる疾患と対策 東洋医学 (2) 東洋医学のエビデンスと現代医療における役割 まとめ					
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>		
教科書 (必ず購入する書籍)	コメディカルのための専門基礎分野 テキスト 内科学 4版	北村 諭、菅間 康夫、 小林 淳 他	中外医学社	2011・3,800円+税		
参考書						
その他の資料	授業に際し、資料を配布します。					
【評価方法】 出席・定期試験			【履修上の留意点】			